



今月の題字
堀合亮平君
(織笠小3年)

町のわだい

山田地区 佐藤忠太夫さんが100歳に 多くの祝福に手を振り応える

山田地区の佐藤忠太夫さん(明治38年生まれ)が1月10日で満100歳の誕生日を迎えました。同日、入所先のほほえみの里(宮古市)を沼崎喜一町長が訪れ、長寿を祝福。「佐藤さん、町からのお祝いを持ってきましたよ。これからも元気で長生きしてくださいね」とあいさつし、長寿祝い金を手渡しました。佐藤さんは若干緊張した面持ちでしたが、同施設を訪れた家族や孫、施設関係者らの祝福の声に緊張もほぐれ、うれしそうに手を振って応えていました。



荒川小でミズキ団子づくり 世代をつなぐ花 色鮮やかに

1月19日、荒川小学校(小野寺信也校長・児童37人)で、ミズキ団子作り交流会が開かれました。これは郷土の風習を伝え、世代を超えた地域のきずなを深めようと、荒川老人クラブの協力を得て20年ほど前から開いているものです。児童たちは、団子を丸めたりミズキの枝に飾り付けたりするなど、おじいさんやおばあさんから手ほどきを受けながらの共同作業。ほのぼのとした光景が広がる会場には、赤や緑、黄の色鮮やかなミズキの花が咲き乱れていました。



豊間根中学校 生徒が雪かきボランティア 温かい善意で高齢者を支援

豊間根中学校(扇田米秋校長・生徒102人)の生徒77人が1月20日、一人暮らしのお年寄りの家を対象に雪かきボランティアを行いました。これは町社会福祉協議会に寄せられた意見をもとに、同中学校の協力により行われたものです。生徒たちは放課後2、3人ずつのグループに別れて豊間根地区の31軒を訪問し、作業に汗を流しました。豊間根の伊藤ヒデさん(83)＝写真奥＝は「足が悪くて、雪かきが冬の一番の悩みでした。とても助かります」と感謝していました。また、1月17日には山田高校の生徒約100人が豊間根地区を除く町内全地区で同ボランティアを行っています。

176人が責任感を胸に成人式 大人の仲間入りを祝い合う

1月9日、平成17年の町成人式が町中央公民館大ホールで開かれ、新成人176人が参加しました。主催者を代表して沼崎喜一町長が「皆さんの若さを原動力に明るい社会を築いてください」とあいさつ。その後、三田地駿さん(境田町)が町民憲章を読み上げました。佐々木良一議長、佐々木俊夫県議会議員の祝辞に続き、佐藤寛子さん(八幡町)と五十嵐俊介さん(田の浜)がはたちの誓いを読み上げ、「責任ある社会人として一生懸命に生き抜いていきます」と力強く決意を述べました。式典終了後は元教育長の木村悌郎さん(盛岡市)が「新成人に送る歌と想い」と題し「ふるさとの」など6曲を歌い、新成人を祝福。その後プレゼント抽選会が行われ、会場は和やかな雰囲気になっていました。



北浜町出身 澤田薫さんのミニコンサート 魅惑のテノールで聴衆魅了

北浜町出身で声楽家の澤田薫さん(28)＝東京都在住＝のミニコンサートが1月22日、町中央公民館大ホールで開かれました。町教育委員会が生涯学習「やまだまち女性セミナー」の閉講式を兼ねて開いたもので、会場には受講生ら150人が詰め掛けました。澤田さんはトークを交えながら「さとうきび畑」「グラナダ」など親しみやすい曲を中心に全9曲を熱唱。最後は鳴りやまない拍手に応え、イタリア歌曲「オ・ソレ・ミオ」で締めくくりました。澤田さんは現在、洗足音大大学院に在学中で、昨年11月に東京都で開かれた第3回ベルカント・テノール・コンクールで2位に入賞(1位なし)。4月には東京での歌劇「蝶々夫人」公演でピンカートン役として出演を予定しています。里帰りコンサートを終えた澤田さんは「地元の方に自分の歌を聴いてもらえてとてもうれしい」と笑顔で話していました。



織笠地区 伝統の「なごみ」大暴れ 悪いわらすはいねえがー

1月15日、織笠地区では小正月行事「なごみ」が行われました。これは、教育振興運動織笠地区実践協議会(山崎美穂子会長)が地区の良き風習を伝えていこうと、毎年行っているものです。鬼の面をかぶって手には大きな包丁と袋を持ち、「ピーピー」と笛で独特の鳴き声を出し、突然乱入してくる「なごみ」の姿は、子供たちにとっては恐怖そのもの。会員ふんする「なごみ」は家々で「悪いわらすはいねえがー」と大暴れし、小正月の伝統の一夜が更けていきました。

